

バッテリーパックの取り扱いに関する販売代理店様向け推奨実務手順

電動アシストバイクのリチウムイオンバッテリーパックは、大容量の電力を蓄えることができます。そのため、エネルギー供給源として機能する他のあらゆる機器と同様、正しく取り扱う必要があります。スペシャライズド Turbo バッテリーパックは、安全を確保するため、最先端のバッテリー管理システムによって設計されています。しかし、返却されたバッテリーは、損傷または障害が生じている可能性があり、火災のリスクを排除できない場合があります。貴代理店様におかれましては、返却された Turbo バッテリーパックの安全な取り扱いについて、以下のガイドラインに従ってください。

重要：安全性に疑義のあるバッテリーパックは、常に屋外に保管してください。また、航空機による輸送・運搬は決して行わないでください。

1. ライダーの使用しているバッテリーの安全性に疑義があり、その確認が必要な場合：

- ライダーに対し、バッテリーパックの充電レベルを約 50%にした状態で、バイクを貴代理店様にお持ちいただくよう依頼してください。充電量を下げたバッテリーパックは、蓄えられたエネルギーが低減されるため、火災のリスクを大きく減らすことができます。
- 対象となるバッテリーパックはすべて検査を行い、危険性または損傷の兆候がないかどうか確認してください。セクション 4 を参照してください。
- スペシャライズド診断ファームウェアと USB ツールを併用して、すべてのバッテリーパックを診断してください。
- Turbo Studio で、バイクイベントログを確認してください。バイクの整備について完全に確認することを推奨しています。
- 更新が可能となる場面で、ファームウェアの更新を行ってください。バグ／問題点は、多くの場合、更新によって修正することができます。
- 安全性に疑義のあるバッテリーパックは、一時的にせよ、貴代理店様の屋内に保管することは避けてください。バッテリーパックの安全性に疑義がある場合は、火災対策が施されたバッテリー保管容器のエリアに直ちに移動してください。保管に関するガイドラインは、セクション 3 を参照してください。

2. 貴代理店様において安全性の疑義が解決できず、バッテリーパックの交換が必要な場合：

- バッテリーパックの写真を撮ってください。シリアルナンバーラベル、保証ラベル、バッテリーパックの全体的な状態（報告された損傷／安全性の疑義も含めること）が、はっきりとわかる写真が必要です。また、Turbo Studio の診断ログファイルもお送りください。
- バッテリーパックを安全に保管し、保証請求または割引料金による交換注文を行ってください。

3. 保管施設および保護：

- 安全性に疑義のあるバッテリーパックは、火災対策が施されたバッテリー保管容器のある場所に保管してください。バッテリー保管容器を設置するエリアは、貴代理店様の建物に隣接し、人の出入りが管理できる屋外で、販売スペースと可燃物から離れた場所を選んでください。また保管エリアは、直射日光が当たらず、湿気（雨、雪、流水）のない場所で行ってください。気温が 5℃～20℃（41°F～68°F）の範囲に保たれることが理想的です。決して 38℃（100°F）を超えてはなりません。
- バッテリーの保管には、認可されたバッテリーリサイクル業者によって提供された容器を使用するか、または金属容器（例えば、スチール製 55 ガロンドラム缶など）を使用してください。安全性に疑義のあるバッテリーパックは、同時に保管できる数量が 12 個までとなります。バッテリーを容器内に入れたら、砂またはバーミキュライトをかぶせてバッテリーを覆ってください。バッテリーを追加するごとに、砂またはバーミキュライトをかぶせていきます。
- セクション 5 の指示に従って、安全性に疑義のあるバッテリーパックの定期的な輸送／受け取りができるように計画してください。当該バッテリーパックは、期限を超えて保管しないでください。容器／ドラム缶には、リチウムイオンバッテリーが保管されていることを明確に示すラベルを貼付してください。
- 整備作業エリアには、二酸化炭素消火器（クラス B、C 火災対応）またはドライケミカル粉末消火器（クラス A、B、C 火災対応）を備え付け、適切な個人用防護具を配備してください。これらの基準については、地域の防災当局に確認してください。通常、リチウムイオンバッテリーがからんだ火災は、クラス B 火災に分類されます。

4. リスクのあるバッテリーパックの兆候および取り扱いに関するガイダンス：

- 兆候：熱や煙を発散するバッテリーパック、異常な臭いや音を発するバッテリーパック、捻じれや変形が見られるバッテリーパック、衝撃または改ざんの跡が見られるバッテリーパック、作動状況が異常なバッテリーパック（例えば、オフにならないなど）は、「リスクのある」バッテリーパックであると判断してください。このようなバッテリーパックは非常に稀ではあるものの、安全のため、取り扱いには以下の注意が必要です。
- 取り扱い：
 - リスクのあるバッテリーパックは、決して充電または修理を試みないでください。
 - リスクがあると判断したバッテリーパックは、適切な個人用防護具を使用して火災対策が施されたバッテリー保管容器のエリアに直ちに移動してください。ガスは可燃性／有毒な場合があるため、十分に注意を払ってください。問題が急に発生し、障害をもたらす可能性があります。
 - 火災／煙が発生したら、あるいはそのような懸念を察知したら、地域の消防署に連絡してください。
 - 安全に保管が完了したら、状況を記述してシリアルナンバーと共に写真を撮り、スペシャライズドカスタマーサービスにお電話でご連絡ください。これらを基にして貴代理店様に安全報告書を作成していただきます。

5. 安全性に疑義のあるバッテリーのリサイクリングまたは返却に関する注意事項：

- 安全性に疑義のあるバッテリーパックは、航空機による輸送・運搬を決して行わないでください。
- ほとんどの場合、バッテリーパックをスペシャライズドにご返却いただく必要はありません。返却が必要なバッテリーパックは、スペシャライズドカスタマーサービスが指定いたします。
- 対応が済んだ安全性に疑義のあるバッテリーパックをリサイクルする際は、回収とリサイクルを、認可されたバッテリーリサイクル業者に依頼してください。
- バッテリーパックを返却する必要がある場合は、スペシャライズドが配送手続きを手配いたします。リチウムイオンバッテリーは危険物に指定されており、通常の輸送業者が配送を行うことはできません。